

“大切な花”を咲かせよう






保育所等訪問支援通信NO. 30-1

春のポカポカ陽気とともに新年度がスタートしました✿

今年度も園の先生方と一緒に子どもたちの成長をサポートしていきたいと思えます。一年間どうぞよろしくお願いたします。

さて、今年度の通信は“ソーシャルスキルトレーニング”をテーマに挙げました。“ソーシャルスキル”とは、対人関係や集団行動を上手に営むための技能のこと。訪問支援の中でも自分の感情や行動をコントロールできない、相手の気持ちを想像できない、自尊心が弱く自信がもてないなどの特性をもつお子さんがいます。子ども達が苦手と感じやすいソーシャルスキルを整理し、身に付けるためのトレーニング方法、実施する時のポイントを学んでいきたいと思えます。少しでも日常の保育の参考になれば幸いです。

事例1 友達との関わりが少ない・みんなで一緒に遊ぶのが苦手

考えられる要因	こんなトレーニングをしてみよう！	
<p>人への関心が低く相手に注目できない</p> 	<p>『お顔を見てみよう』 先生の顔をよく見せてまずは人の顔に興味をもたせます。見るだけでなく手で顔に優しく触れると親近感もちやすくなります。人の顔が視界に入る機会を増やしていきましょう。</p> <p>☆ポイント☆</p> <ul style="list-style-type: none"> 警戒心がある場合は、頭や肩から触れる。 共同遊び（積み木を高く積むなど）を行い、うまくできた時にハイタッチする。 	<p>『お願いしてみよう』 子どもが自分だけではできない場面を提示して先生や友達への「お願い」を誘導します。お願いをすることを通して人との関わりを増やししながら、相手の存在に気づいたり意識できるように促しましょう。</p> <p>☆ポイント☆</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが一番興味のあるものを、あえて手の届かないところに置く。 使い終わったら毎回そこに戻し、遊びたいときは人にお願してとってもらえばいいことを教える。
<p>相手の遊びや話に興味を持って自分の行動を合わせていくことが難しい</p> 	<p>『遊びの取り換えっこ』 子どもが取り組んでいる遊びやこだわっていることをみんなでやってみます。互いに教え合うことの大切さを伝えましょう。自分の好きなこと、得意なことを教える喜びと教えてもらう楽しさを感じることで興味の幅が広がります。</p> <p>☆ポイント☆</p> <ul style="list-style-type: none"> こだわりが強い子どもの遊びをはじめのころに取り入れるようにする。 得意なことを周りの子どもに教えてあげられるように支援する。 ほかの子どもの遊びをやりたいがらない場合は「昨日はみんなが〇〇ちゃんの遊びをやってくれたから今日は△△ちゃんの遊びをやってみよう」と声をかける。ギブアンドテイクでお互い教え合い、譲りあうことの大切さを伝える。 	
<p>友達と話すのが苦手</p>	<p>『いいところを見つけよう』 友達のよいところを見つけることで、互いにほめ合ったり励まし合ったりする習慣をつけます。友達に関心をもたせて日頃からよい言葉が使えるようにしましょう。</p> <p>☆ポイント☆</p> <ul style="list-style-type: none"> 帰りの会などで友達のよい行いを発表し合う時間を定期的に作る。 友達の好きなところやがんばっている姿を発表し合う。 よい行いをした子とそれを見ていた子の両方をほめる。 みんなで「ありがとう」を言う。 	

【発達障害の子をサポートするソーシャルスキルトレーニング事例集 監修：腰川一恵 山口麻由美】



吉岡かよ



山本かほり



内藤知子

児童発達支援センター つつじが崎学園
 保育所等訪問支援
 〒400-0013 山梨県甲府市岩窪町6-1-4番地
 Tel 055-251-7678
 Fax 055-251-7679
 Mail yamamoto@tutuji.or.jp
 担当：吉岡かよ 山本かほり 内藤知子